

加東市 小学生保護者を対象とした 子育て支援に関するアンケート調査

1 調査の目的

このアンケート調査は「加東市子ども・子育て支援事業計画（仮称）」を策定するにあたり、子育て世帯の現状とニーズを把握するため、現在の教育・保育サービスの利用状況及び今後の利用希望等について、国の基本指針等に基づき、市内の小学生をもつ親を対象にアンケートを実施したものです。

2 調査方法及び回収状況

○調査対象：市内の小学生保護者

○調査期間：平成 25 年 12 月 10 日（火）～平成 26 年 1 月 10 日（金）

○調査方法：郵送配布、郵送回収方式

○調査対象数と回収状況：

調査対象数（A）	800
回収数（B）	374
回収率（B）÷（A）	46.8

○調査データの表示について

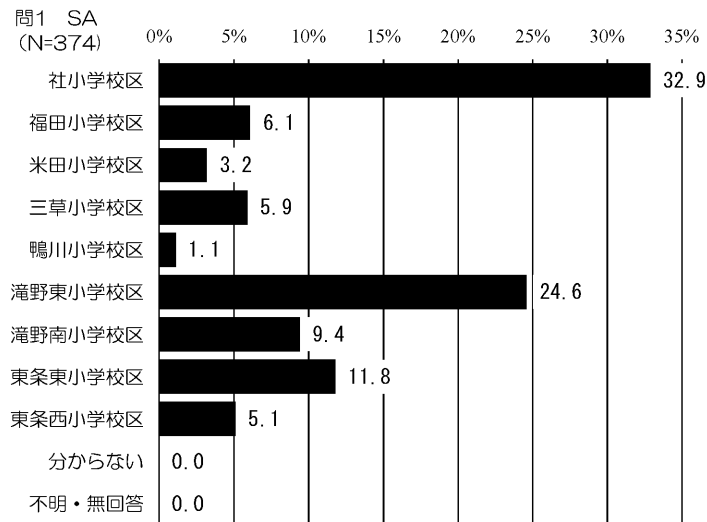
- ・構成比の％は小数点第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計は 100％にならない場合があります。
- ・複数回答の構成比は回答数を回答者数で割っているため、内訳の合計は 100％を超えることとなります。
- ・「N」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- ・「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表しています。

3 調査結果

(1) お住まいの地域について

問1 あなたがお住まいの小校区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

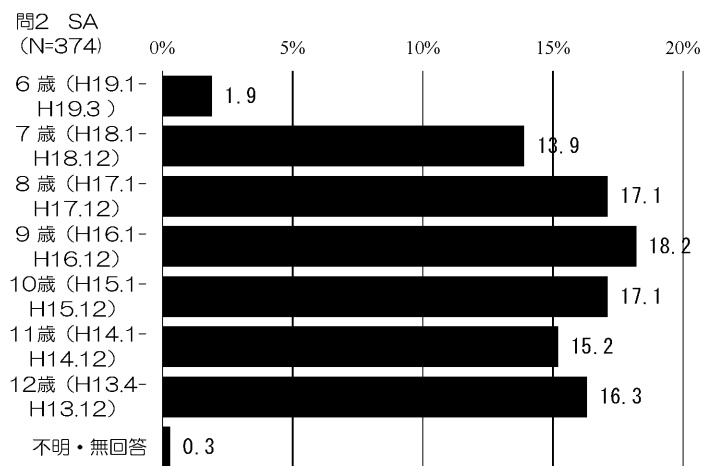
- ・回答者の居住地区について、「社小校区」が32.9%、「滝野東小校区」が24.6%、「東条東小校区」が11.8%となっています。



(2) 子どもとご家族の状況について

問2 お子さまの生年月を口内にご記入ください。

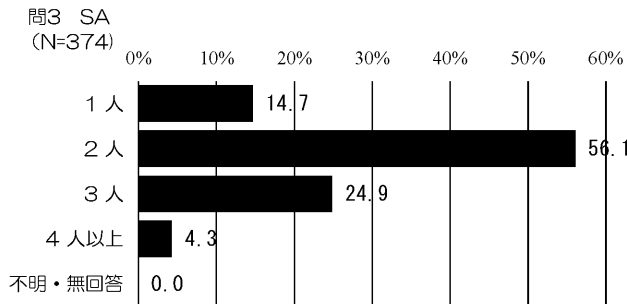
- ・回答者の子どもの年齢について、「9歳」が18.2%、「8歳」と「10歳」が17.1%となっています。



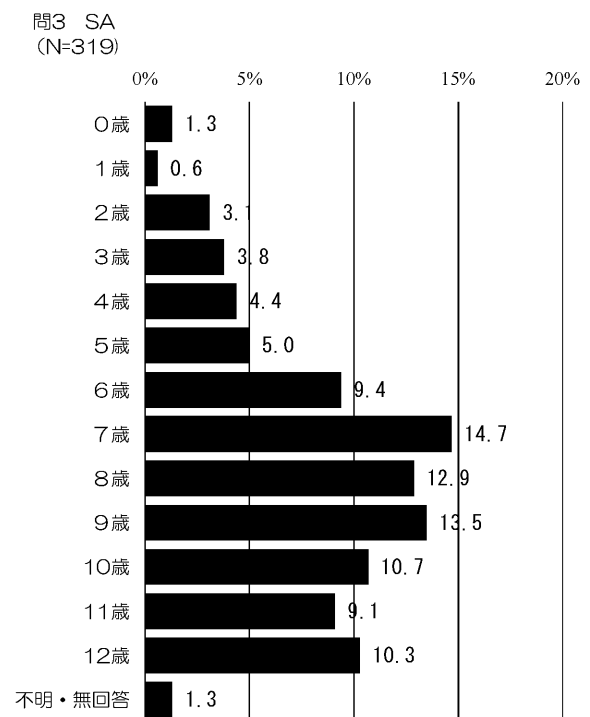
問3 お子さまは何人いますか。2人以上の場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

- ・子どもの人数について、「2人」が56.1%と最も高く、次いで「3人」が24.9%、「1人」が14.7%となっています。
- ・末子の年齢については「7歳」が14.7%と最も高く、次いで「9歳」が13.5%、「8歳」が12.9%となっています。

<子どもの人数>

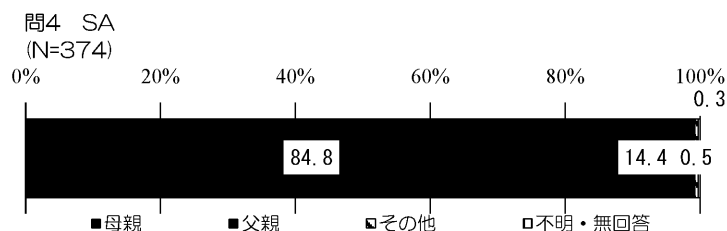


<末子の年齢>



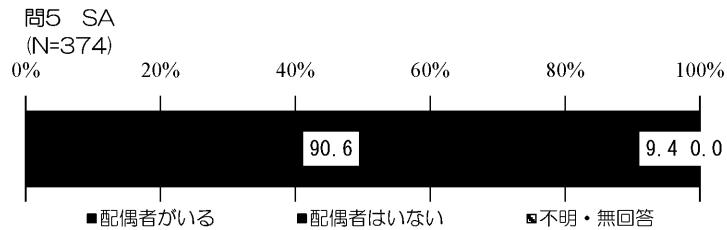
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さまからみて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- ・調査票の回答者は「母親」が9割弱となっています。



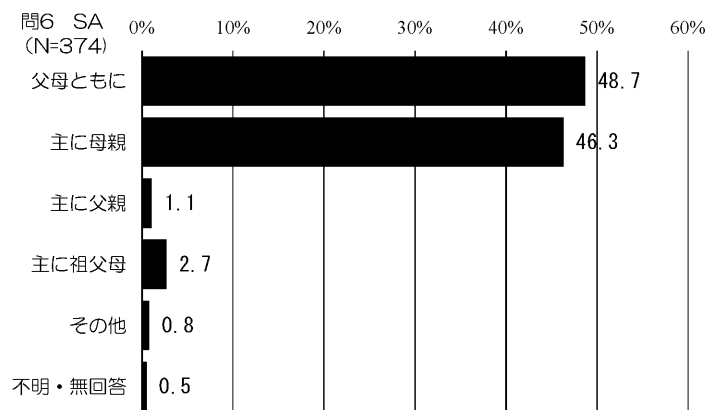
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

・回答者の9割は「配偶者がいる」と回答しています。



問6 お子さまの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さまから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

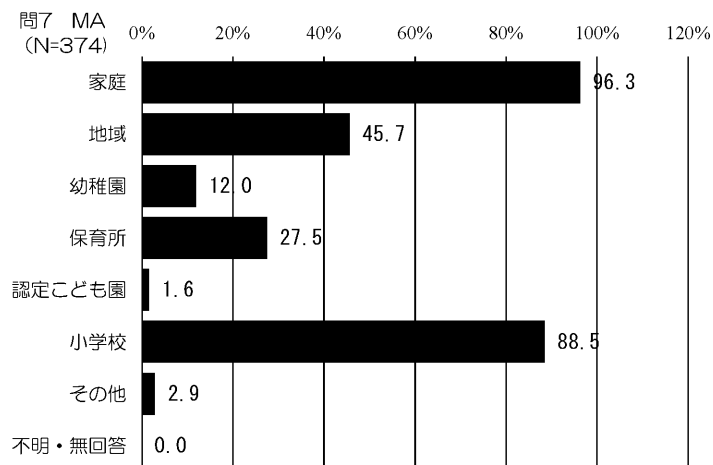
・子育てを主に行っている人について、「父母ともに」が48.7%と最も高く、次いで「主に母親」が46.3%となっています。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

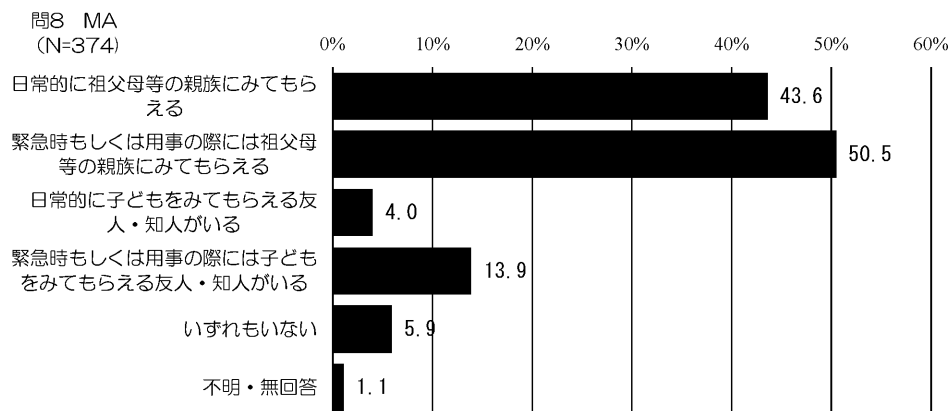
問7 お子さまの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- ・子どもの子育てに最も影響する環境について、「家庭」が96.3%と最も高く、次いで「小学校」が88.5%、「地域」が45.7%となっています。



問8 日頃、お子さまをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

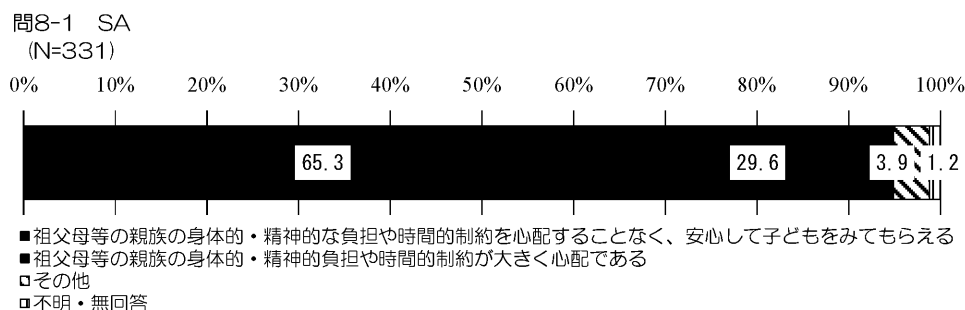
- ・日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が43.6%となっています。
- ・一方、「いずれもない」と回答した割合は5.9%となっています。



問 8-1 問 8 で「1」「2」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さまをみてもらっている状況について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

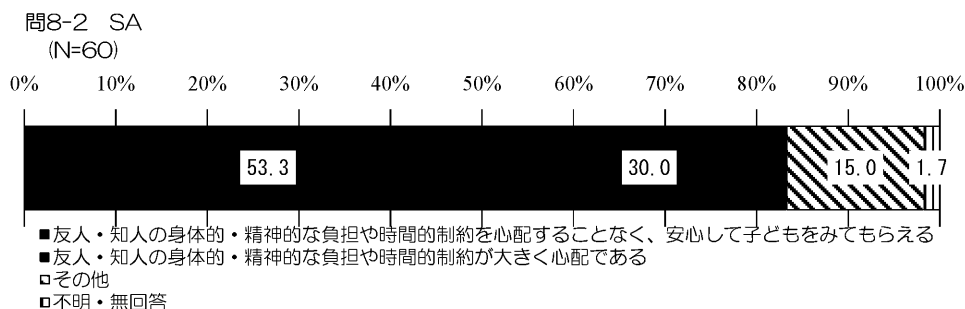
- ・祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 65.3%、「祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」が 29.6%となっています。



問 8-2 問 8 で「3」「4」に○をつけた方にうかがいます。

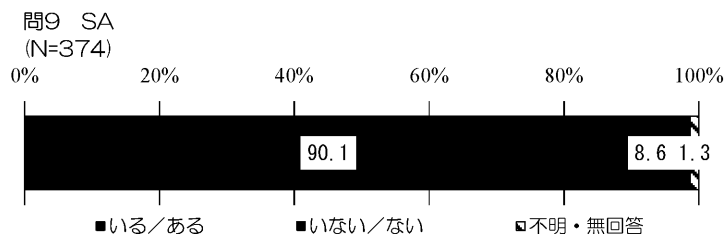
友人・知人にお子さまをみてもらっている状況について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- ・友人・知人に子どもをみてもらっている状況について、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 53.3%、「友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」が 30.0%となっています。



問 9 お子さまの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

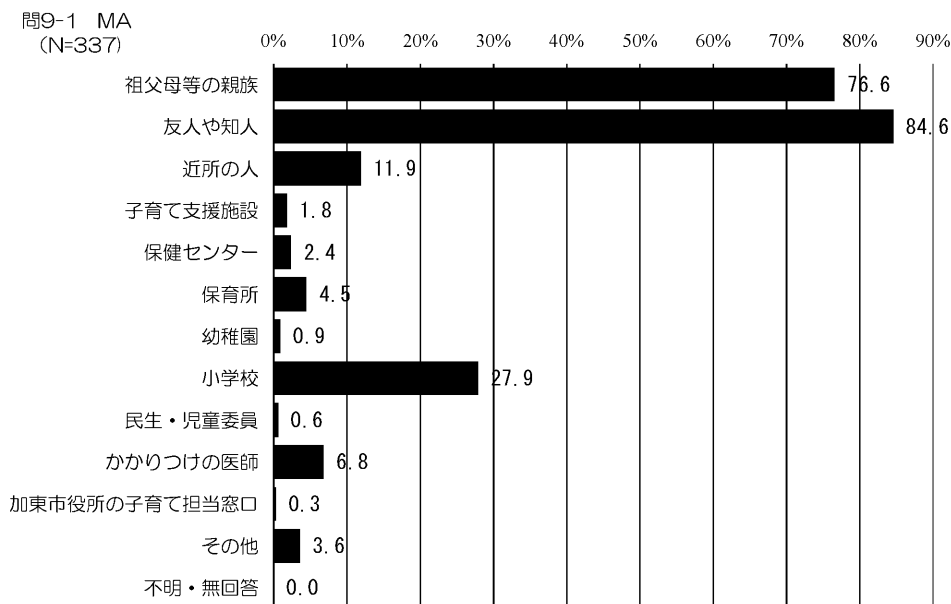
- ・子育てについて気軽に相談できる人の有無について、「いる/ある」が 90.1%、「いない/ない」が 8.6%となっています。



問9-1 問9で「1」に○をつけた方にうかがいます。

お子さまの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

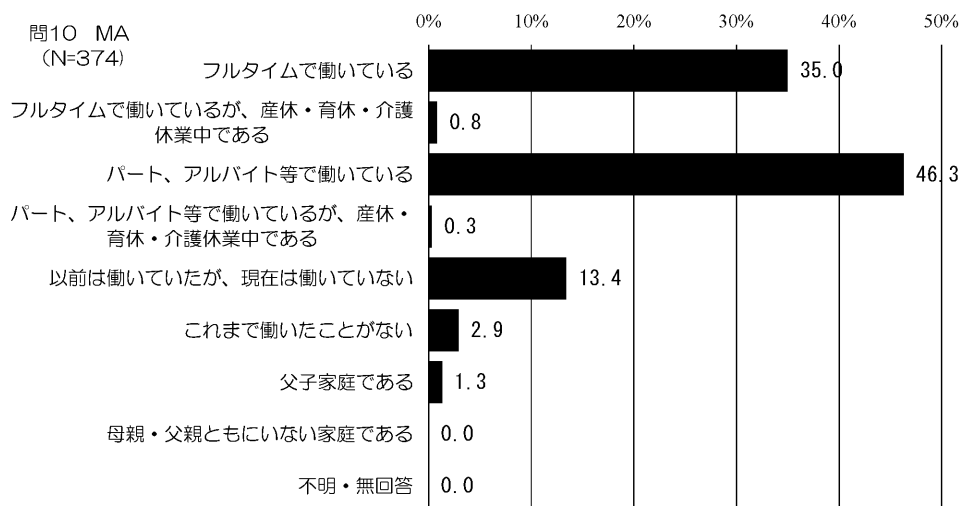
- ・子育てについて気軽に相談できる先は、「友人や知人」が84.6%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が76.6%となっています。



(4) 子どもの保護者の働き方について

問10 お子さまの母親の現在の働き方（自営業や自営業を手伝っている方を含む）について、
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- ・母親の現在の働き方について、「パート・アルバイト等で働いている」が46.3%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が35.0%となっています。

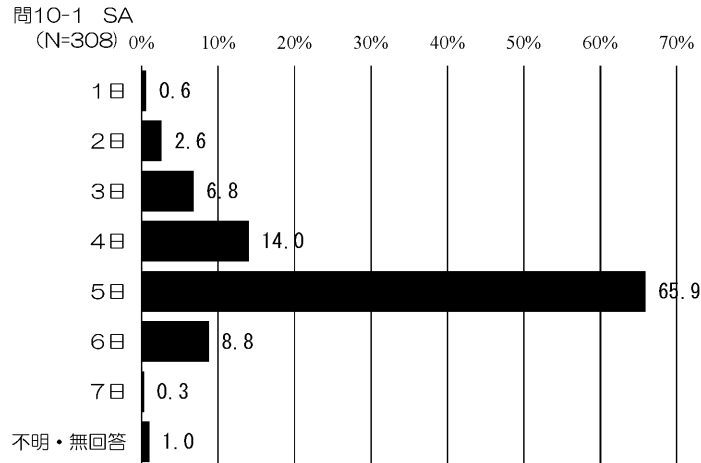


問10-1 問10で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

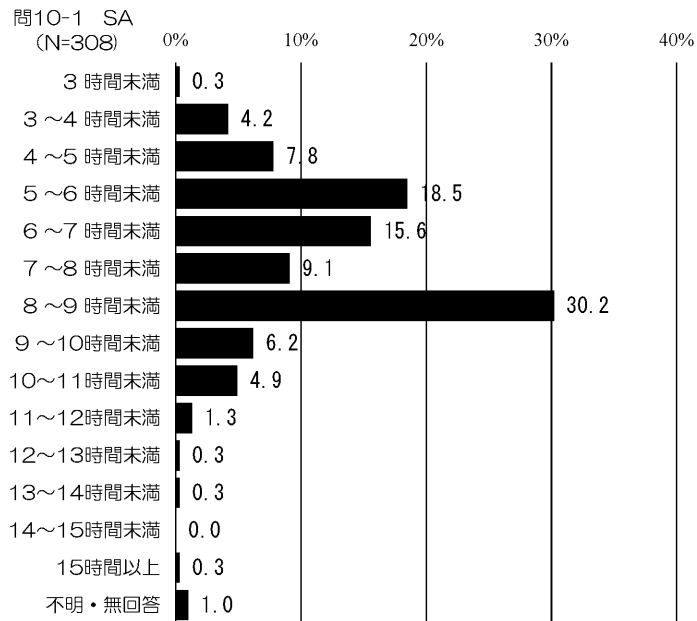
【就労日数】

- ・就労中の母親の就労日数について、「5日」が65.9%と最も高く、次いで「4日」が14.0%、「6日」が8.8%となっています。



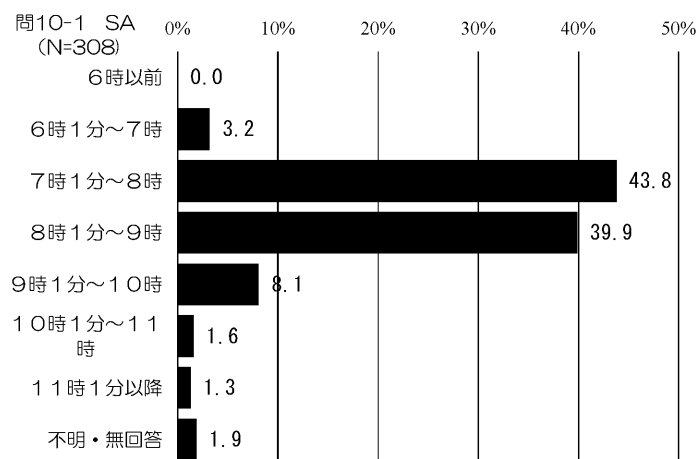
【就労時間】

- ・就労中の母親の1日当たりの就労時間について、「8～9時間未満」が30.2%と最も高く、次いで「5～6時間未満」が18.5%、「6～7時間未満」が15.6%となっています。



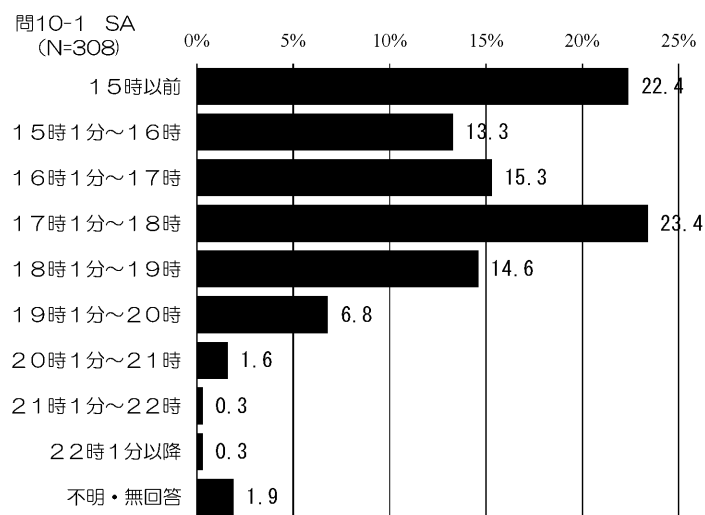
【出勤時刻】

- ・就労中の母親の出勤時刻について、「7時台(7時1分～8時)」が43.8%と最も高く、次いで「8時台(8時1分～9時)」が39.9%となっています。



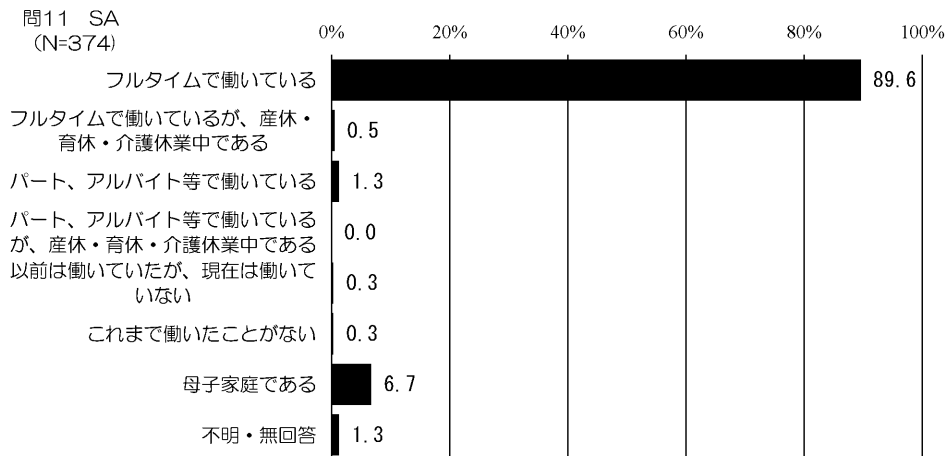
【帰宅時刻】

- ・就労中の母親の帰宅時刻について、「17時台(17時1分～18時)」が23.4%と最も高く、次いで「15時以前」が22.4%となっています。



問 1 1 お子さまの父親の現在の働き方（自営業や自営業を手伝っている方を含む）について、
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

・父親の現在の働き方について、「フルタイムで働いている」が 89.6%と大半を占めています。

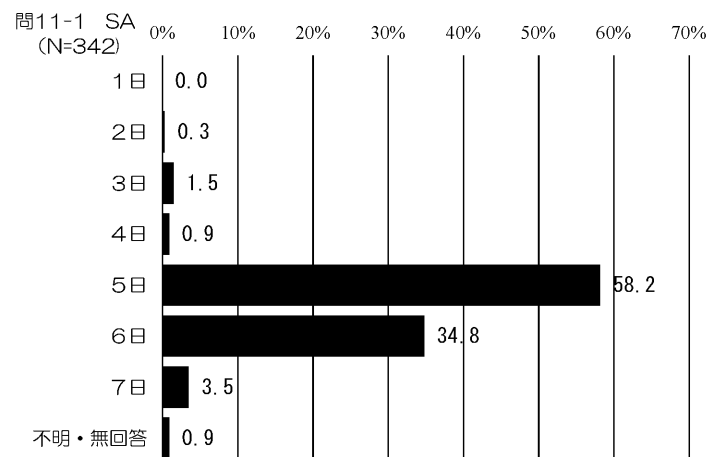


問 11-1 問 11 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と
帰宅時刻をお答えください。

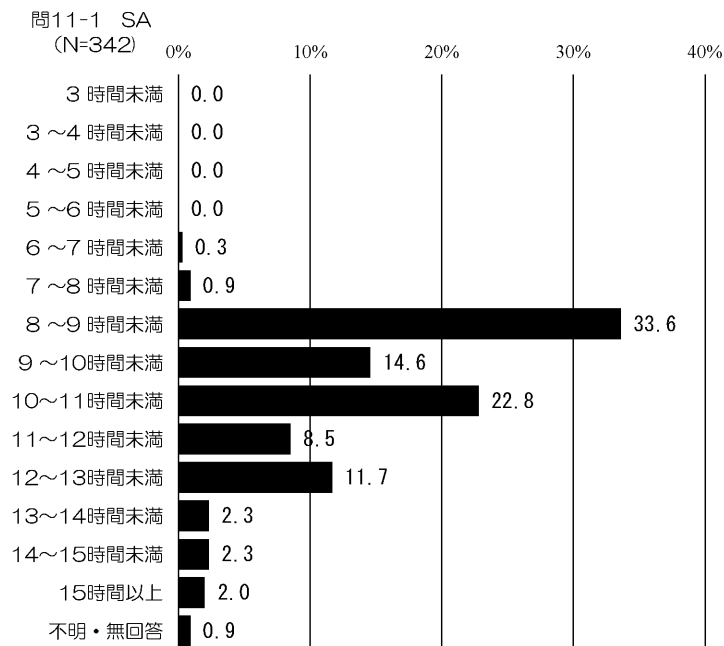
【就労日数】

・就労中の父親の就労日数について、「5日」が 58.2%と最も高く、次いで「6日」が 34.8%とな
っています。



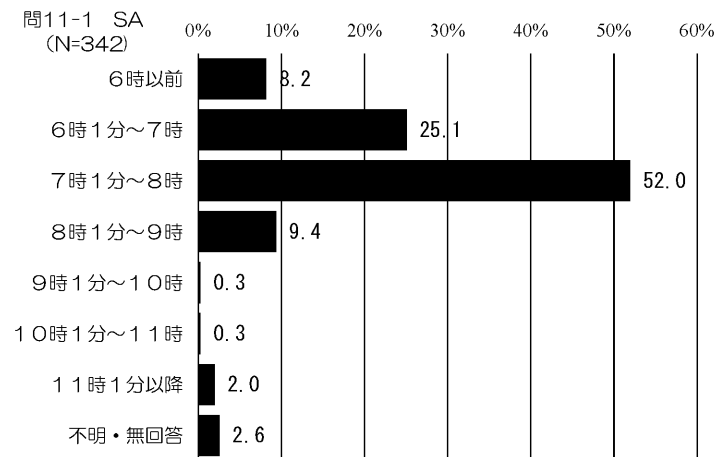
【就労時間】

- ・就労中の父親の1日当たりの就労時間について、「8～9時間未満」が33.6%と最も高く、次いで「10～11時間未満」が22.8%、「9～10時間未満」が14.6%となっています。



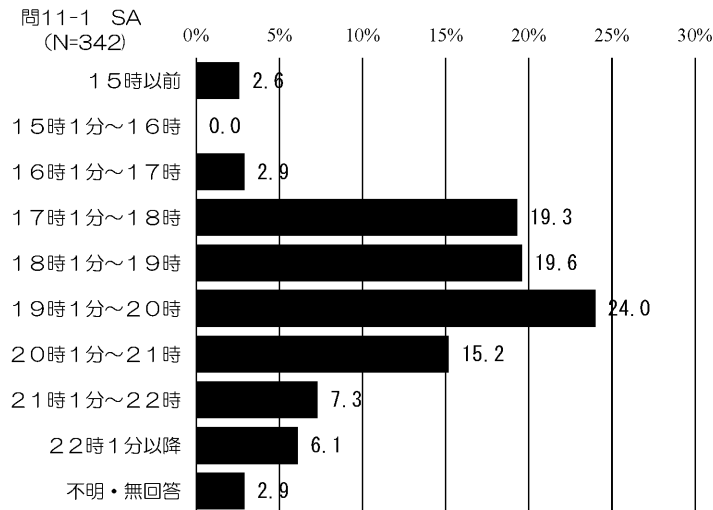
【出勤時刻】

- ・就労中の父親の出勤時刻について、「7時台(7時1分～8時)」が52.0%と最も高く、次いで「6時台(6時1分～7時)」が25.1%となっています。



【帰宅時刻】

・就労中の父親の帰宅時刻について、「19 時台(19 時 1 分～20 時)」が 24.0%と最も高く、次いで「18 時台(18 時 1 分～19 時)」が 19.6%となっています。

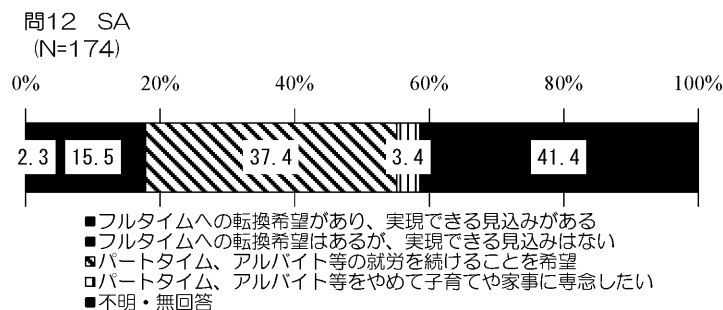


問12 問10または問11で、「3」「4」に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

・「パート・アルバイト」の母親に、フルタイムへの転換希望を伺ったところ、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 2.3%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 15.5%となっており、あわせて 2 割弱がフルタイムへの転換を希望しています。

＜パート・アルバイトの母親におけるフルタイムへの転換希望＞



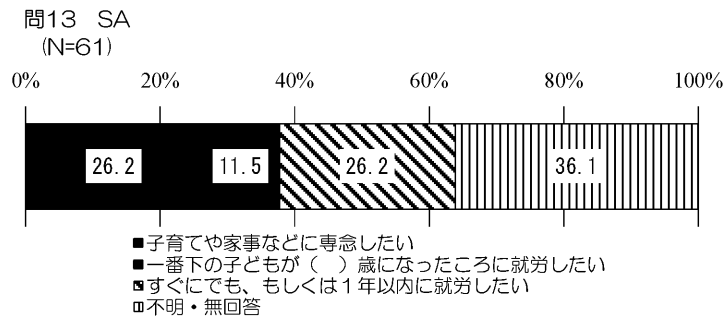
※ 「パート・アルバイト」の父親の回答数が5件であったため、父親の回答は省略している

問13 問10または問11で「5」「6」に○をつけた方にうかがいます。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

- ・現在就労していない母親に就労意向を伺ったところ、「子育てや家事などに専念したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が26.2%、「一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」が11.5%となっています。

<現在就労していない母親の就労意向>



- ・一番下の子どもが何歳になったらことに就労したいかについて、「6歳」が6件、次いで「4歳」が1件となっています。

回答者総数	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	不明・無回答
7	0	0	0	1	0	6	0
100.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	85.7	0.0

【就労形態】

- ・就労意向のある母親に就労形態の希望を伺ったところ、「パートタイム、アルバイト等」が9件、「フルタイム」が6件となっています。

回答者総数	フルタイム	パートタイム、アルバイト等	不明・無回答
16	6	9	1
100.0	37.5	56.3	6.3

【就労日数】

- ・就労日数については「5日」が最も高く、「4日」「3日」が続いています。

問13 希望する就労日数（母親）								
回答者総数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
9	0	0	2	3	4	0	0	0
100.0	0.0	0.0	22.2	33.3	44.4	0.0	0.0	0.0

【就労時間】

- ・就労時間については「4～5時間未満」「6～7時間未満」がそれぞれ4件、「5～6時間未満」が1件となっています。

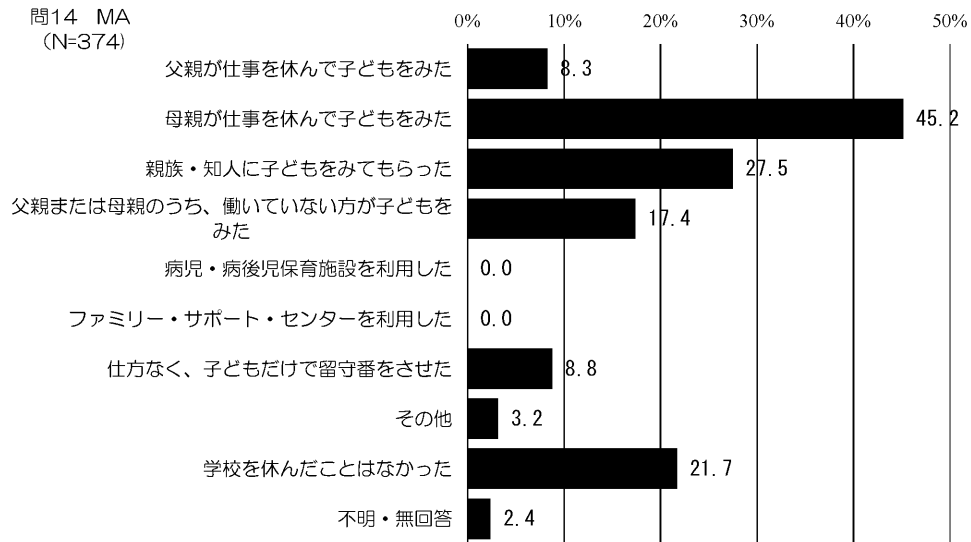
問13 パートタイム、アルバイト等の希望就労時間（母親）															
回答者総数	3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8～9時間未満	9～10時間未満	10～11時間未満	11～12時間未満	12～13時間未満	13～14時間未満	14～15時間未満	15時間以上	不明・無回答
9	0	0	4	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0	0.0	0.0	44.4	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※「働いていない等」の父親の回答数が2件であったため、父親の回答は省略している

(5) 子どもの病気の際の対応について

問 14 この 1 年間に、お子さまのケガや病気により、学校を休んだことはありますか。ある場合は、その際の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

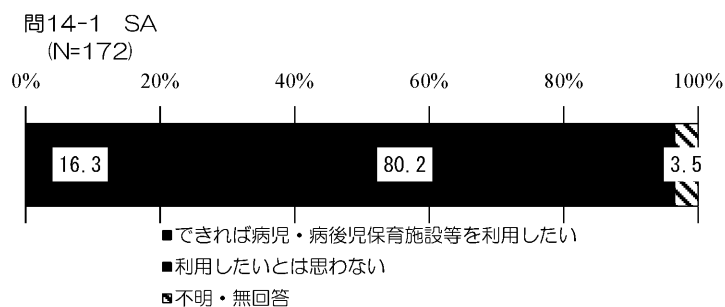
・子どもがケガや病気により学校を休んだ場合の対処方法について、「母親が仕事を休んで子どもをみた」が 45.2%と最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が 27.5%となっています。



問 14-1 問 14 で「1」「2」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、日数についても記入してください。

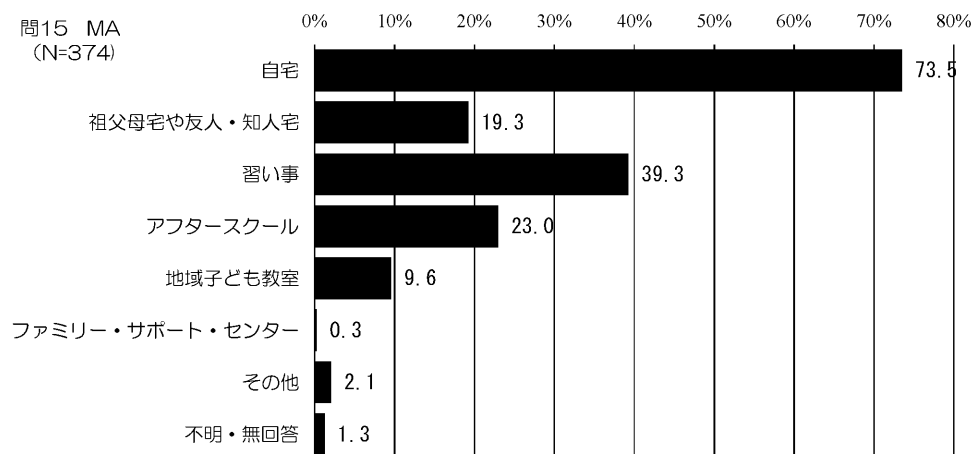
・母親または父親が仕事を休んで子どもをみた回答者に対して、病児・病後児のための保育施設等の利用希望を伺ったところ、「利用したいとは思わない」が 80.2%と最も高く、次いで「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 16.3%となっています。



(6) 子どもの放課後の過ごし方について

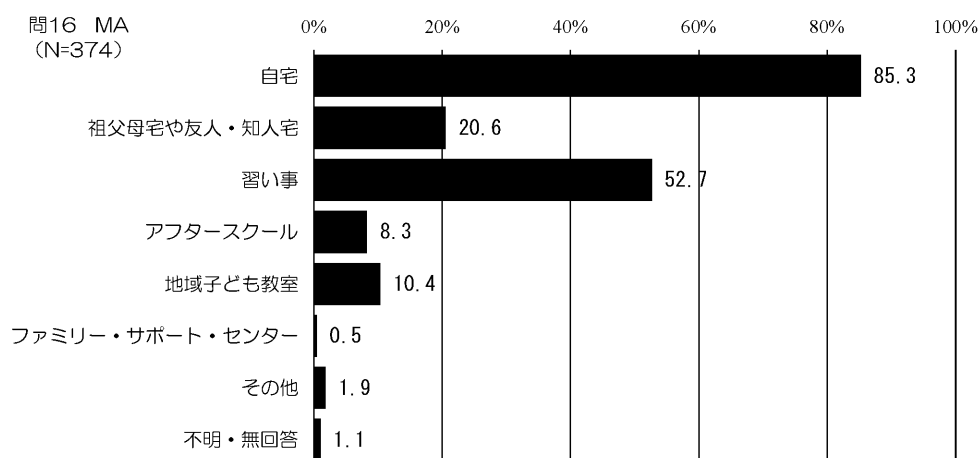
問 15 お子さまが小学校低学年（1～3 年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、利用する日数も数字でご記入ください。

・子どもが小学校低学年時に放課後の時間を過ごす場所について、「自宅」が73.5%と最も高く、次いで「習い事」が39.3%、「アフタースクール」が23.0%となっています。



問 16 お子さまが小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、利用する日数も数字でご記入ください。

・子どもが小学校高学年時に希望する放課後の時間を過ごす場所について、「自宅」が85.3%と最も高く、次いで「習い事」が52.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」20.6%となっています。

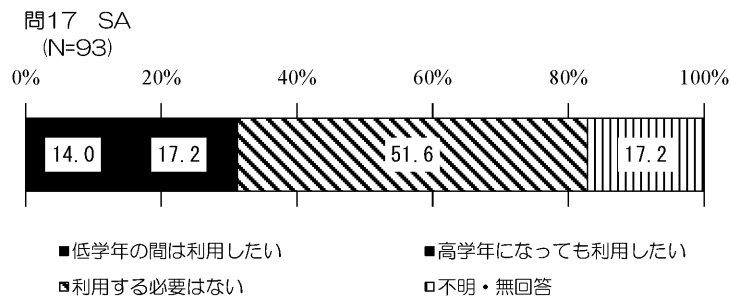


問 17 問 15 または問 16 で「4」に○をつけた方にうかがいます。

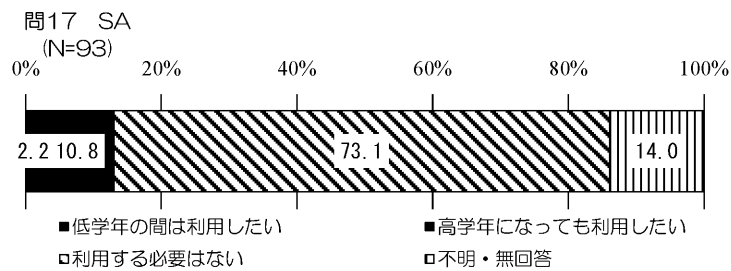
土曜日と日曜日・祝日に、お子さまのアフタースクール（学童保育）の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用を希望する時間帯もご記入ください。

- ・土曜日・日曜日・祝日におけるアフタースクールの利用希望について、土曜日については「低学年の間は利用したい」が 14.0%、「高学年になっても利用したい」が 17.2%となっています。
- ・また、日曜日・祝日については「低学年の間は利用したい」が 2.2%、「高学年になっても利用したい」が 10.8%となっています。

<土曜日の利用希望>



<日曜日・祝日の利用希望>



問 18 夏休み、冬休みなどの長期の休暇期間中に、お子さまのアフタースクール（学童保育）の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用を希望する時間帯もご記入ください。

- ・長期休暇期間中におけるアフタースクールの利用希望について、「低学年の間は利用したい」が 10.7%、「高学年になっても利用したい」が 14.4%、「利用する必要はない」が 59.4%となっています。

